小倉への友愛米カンパ
涙で受取り決意を固め

近江絹糸の北九州版とでも云うべき小倉炭鉱の同志が家族ぐるみの熾烈な闘いに起ち上り腕力と暴力にも屈せず長期の闘いを続けているとき、三鉱労組では小倉労組に一〇〇万円の融資を行つたが、三鉱主婦会でも米の一握カンパを行い、十六俵を数える程に会員の協力を得て早速大牟田市役所のトラックに積みこみ十二日午前六時本部前を出発、右に主婦会旗、左に組合旗を翻風になびかせ一路筑後路を北上した。

北九州地区に入るとアメ公が余りにもウヨ〜〜しているのに腹立たしさを覚えながら午後一時少し過ぎに小倉労組に到着。

小さなみすぼらしい建物作ら組合事務所の前には九炭労傘下の各組も共に闘わなければなりませんし応援闘つておられる皆さん方に出来るだけの支援をしなければと今日主婦会の一握カンパによる救援米を持つてきました。量は満足していただけないかもわかりませんが、三池の私達も共に闘うことを申し上げ勝利の日まで頑張つていただきますようお願い申し上げます」と。

本部前にて救援米積込み

輸送の為同行した高田教宣部員、藤枝主婦会副会長が挨拶すると、小倉労組組合長及主婦会々長が涙ながらに

「各労組主婦会の皆さん、特に三池の皆さんよりの力添えにより益益勇気が出てまいりました。如何なる権力をも必ずハネ返し、最後まで頑張ります。組合員及主婦会の皆さんに呉々もよろしく」との挨拶をして感激の裡に無事送り届けられた。

森谷炭労組織部長、浦本九炭労教宣部長等を中心に各労組主婦会よりかけつけた人達、小倉労組の人人、主婦会の人々の鉢巻姿のりゝしさに感激しながら

「皆さんの闘いは単に小倉だけの問題でなく、全炭労の問題であり日本の全労働者の問題として私達も共に闘わなければなりませんし応援闘つておられる皆さん方に出来るだけの支援をしなければと今日主婦会の一握カンパによる救援

左社参院で決議案
原子兵器の國内持込に對處

広島、長崎の国際的大平和祭会は、未曾有の盛会を極めて終つた。原水爆反対の署名は六億に上る驚人的数字を示した。

また国際的には巨頭会談に引続き原子力平和利用の会議がジュネーブで開催されており、全く世界は平和へ、平和へと大前進を始めた。このような平和の行進に逆行して陽山内閣は、オーネット・ジョンソン原爆ロケット砲を日本に持ち込まれんとしている。選挙公約は全く棚上げし、アメリカの忠実な番犬の役割しか果し得ない反動内閣の弱体ぶりをヘツキリと国民の前にさらけ出した。

このような情勢の中で参議院では「原水爆その他原子兵器の国内に持ち込まれる場合に対処する態度について政府に警告する決議案」を菊川孝夫氏（左社）等を発議者として、阿具根　松本、吉田等地元議員も賛成者として署名し、七月三十日参議院議長に議案として提出した。

次国会にはギマンに満ちた政府の外交責任を追及すべく左社議員は手ぐすね引いて待つている。

以下決議案文は次の通り

原水爆その他原子兵器の国内に持ち込まれる場合に対処する態度について政府に警告する決議案

右の議案を発議する。

昭和三十年七月三十日

発議者　菊川孝夫外六名

賛成者　阿具根寿外六二名

参議院議長　河井弥八殿

原水爆その他原子兵器の国内に持ち込まれる場合に対処する態度について政府に警告する決議案

原子力が戦争目的に使用されるときは、人類と文明に名状すべからざる被害を及ぼすことはいまや全世界の常識であり、原子力を平和的に利用することは、二十世紀の人類にとつて最大の課題である。しかるに世界各地の戦争基地に原子兵器が配備されんとする傾向は、最近特に顕著である。

参議院は、かかる動向に対し重大な関心を示すとともに、深くこれを憂慮し、政府が、かかる事態に対処し、国土の平和、民族の幸福を図るために毅然たる態度を持つべきことを要望する。

右決議する。

港務・準決勝で敗る
労働省主催バレー

恒例の労働省主催第八回バレー福岡大会は八月七日盛暑の炎天下に球音も高く福岡市東公園コートで午前九時から各地区より選抜された労組代表十チームの参加で開催された。

予選トーナメント、敗者復活戦、決勝トーナメントと熱戦が繰り展げられたが、大牟田地区からは港務支部チームが参加、予選トーナメントで日立若松を21−14、21−9とストレートで破り緒戦から好調を見せ決勝トーナメントに進み第一回戦で友山田川を21−12、21−11とこれまたストレート勝、愈愈県下一の呼び名の高い強豪チーム県庁と準決勝戦に進んだ。日立田川と連勝の勢をかつて激しく迫り第一セット21−23で惜しくも敗れ第二セットで23−21と挽回、実力まさに伯中し息づまる球戦をみせ熱闘したが、ついに和あらず第三セットで12−21で惜敗した。

成績

優勝　八幡

二位　県庁

三位　三池港務　日炭高松

原水爆禁止福岡縣大會に参加して

八月十三日原爆許すまじの全員合唱に始められた原水爆禁止福岡県大会！

オーストラリヤ、チリー、インド、朝鮮、ポーランド、ソビエト六ケ国の外国代表団を交えての平和への彼岸に到達すべく集いよつた福岡県内各種所属団体、あらゆる階層の人々の中に私も三川支部より十一名参加した中の一員として列席しました。おそらく私如きが再びこういう場所に相まみえる機会はないだろうと思いつゝ、うたるような暑さの九大医学部の講堂の中で感激の拍手を皆様と共に熱度となく送つたのでした。そして頭く感じましたことは、あらゆる人権を宗教を階級を理想を超越して平和を乞い願う人々の如何に多いかを深く深く今更の如く知りました。

保守派も革新派も期する処は皆同じだという事をも、だして絶叫したくなるのでした。

各国代表の方々の挨拶の中で他の言語は全然分らない乍ら、ヒロシマ、ナガサキの一言は耳たぶを打つものがありました。

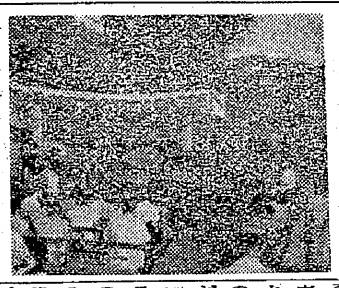
これほど全世界の人々が注目を浴びせ、同情とそして原水爆に対する火のような怒りをこめている広島、長崎、それに比してあの地獄の洗礼をうけ、最も強いにくしみをいだいている筈の日本人当事者があまりにも無関心過ぎはしないかと痛く反省させられました。三度許すまじ原爆を！

たがすでに三度目の犠牲者はあの一九五四年、三、〇〇〇哩の彼方のビキニ水爆実験で又しても我が日本人の中から出て居ります。

私共は全世界の平和を守り抜くには、固い団結心と、絶対に他の国を侵してはならない事です。そして原水爆の破壊力が如何に強くともこれを担む人間の必死の平和への愛の力には到底及ぶべくもない事をはつきりと認識したのでした。

櫛町主婦会分会長　高崎　文子

平和の鳩など
宮ノ前分会で慰霊祭



終戦十周年を明日にひかえた十四日、万田宮の前地域分会では午後六時より山の神神社前広場で平和の願いをこめて慰霊祭が おごそかに開催された。会場は地域分会旗で飾られた盆踊櫓に相対して設けられ、式場には戦災、原爆、殉職者約四十数名の霊を祭る香のかおり立ち上る中に宮崎分会長の開会の辞で式典が初められ僧侶の読経があつて盆踊櫓に仕掛げられたクス玉に入れられた平和の鳩五羽が分会長主婦会青年行動隊の各団体の代表の手によつて原爆戦争反対の願いをこめて米英ソ仏印の各国代表に離され仏故者の霊安かれと冥福を祈ると共に平和式典を盛大に終了した。

十年目に原爆症
病床より原爆反対叫ぶ

広島にげん爆が投下され一瞬にして数十万の人命を奪つたあの戦争の禍根はいま十年という時の流れと共に人々の心からようやく薄れようとしている。だがこの十年目に広島のキノコ雲の被害が初めて症状となつて現れ、病床に伏して「げん爆反対を叫ぶ」運命の十字架を背負わされている人がある。

全鉱七万の最高指揮者として十年間抵身された原口委員長がその人だ。

原口委員長は広島にげん爆投下の日陸軍幹部候補生として広島船舶司令部に勤務中、その洗礼をうけた。広島にげん爆が落ちた八月六日、爆心地から約四キロ離れた船舶司令部の営庭でB29からパラシュートが落ちたのをはつきり認めた瞬間、アッという間に強烈な閃光に射られ刹に身体に変調はなかつたが、五日後に猛熱して倒れた。然し復員後は生来弱かつた体質がかえつて丈夫になり病気らしい病気もしなかつたと親じられている今度再カイヨウで手術のため入院したところ白血球が三、二〇〇に減少（常人は六、〇〇〇）していることがわかり診断の結果はげん爆被災による白血球激減というらく印がおされたものである。

原口委員長の話

「絶望感をのり越えてボクはたくましい闘病生活を続けて行くとにかくげん爆は反対だ…十年後のいま、ぼくは身を以てその恐ろしさを知らされた。この十年の歴史の方向が単にげん子力の平和利用に向つていることはせめてもの慰めで、ボクをふくめてげん爆の悲惨な洗礼をうけた人々がこのいしずえになつているからだと自ら慰めている。そして十年も経てなお戦争の爪跡が食いこんで来る近代戦の恐しさを私は味つている。そして平和以外に人類を救う道のないことも…」

と叫んでいる。

平和大會
福岡で

「人類を破滅に追い込む原水爆禁止福岡県用に反対する「原水爆禁止福岡県大会」は広島、長崎の平和大会の後を受けて八月十三日午前十時から福岡市九州大学医学部講堂で開催された。外国の代表団を交えた七八〇名が出席して平和を願い、原水爆の被災をのろう「三度許すまじ原爆を……」の歌声とともに開かれた。外国代表団への花輪贈呈、同じく代表団のメッセージ、来賓の挨拶など人類の平和への祈求は国境を越え、一丸となつて切実な叫びとなり、平和への前進を続けることを誓つて散会した。

平和署名へ七億票

今年の一月十八、十九日の両日、オーストリアの主都ウイーンで、世界平和評議会執行局拡大会議がひらかれた。この会議には三十ケ国の代表が出席し、全世界の諸国民に原子兵器使用禁止の訴えを出すことが満場一致決定した。

この訴えがウイーン・アピールである。

この会議の議長はノーベル賞受賞者、もとフランス原子力管理委員長、フレデリック・ジョリオ・キューリー氏です。日本からこの会議に参加した人は

法政大学教授、原水爆禁止署名運動全国協議会事務局長　安井　郁

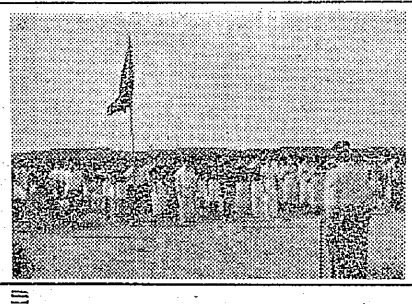
元参議院議員　西日本新聞取締役　西園寺公一

世界中の署名の集計は現在七億票に達している。

三池炭鉱でも三川の緑ケ丘社宅、大谷社宅、新港社宅や宮浦の大砂社宅などの各分会がこの署名をほとんど終えており、個人集計までを合せると炭鉱関係だけで五千票に達している。

（大牟田平和を守る会の発表、七・二五）

勞働者體育祭



荒尾労政事務所、荒尾地評共催の荒尾労政事務所、荒尾地評共催の動くものの体育祭第八回全国労働組合体育大会熊本県荒尾地区予選大会は七日午前九時から四山鉱グラウンドで催され、スポーツ絵巻をくりひろげた。この日荒尾市、玉名郡関係十六単産、三十九チーム、約四〇〇名が参加、荒尾高校ブラスバンドの演奏する行進曲につれて各組合旗を先頭に入場式を行い、大会々長挨拶、選手代表の宣誓につづいて試合を開始し、炎天と土ほこりの中で、熱戦を展開したが、当日優勝の左記チームは九月十日、十一日熊本市で開催の県大会に出場する事になつた。

野球　三鉱四山支部

排球　男子　三鉱四山支部

〃　女子　木業製糸労組

卓球　男子　電通荒尾支部

〃　女子　城北製糸労組

庭球　男子　玉名教職員組合

〃　女子　第一紡績労組

（不戦勝）

社宅外主婦米カンパに活躍

三川支部では外来主婦会の結成が現在一、二地区を踏して全部結成をみているが、主婦会の一握り米カンパには社宅の主婦会に優るとも劣らぬ活躍振りを示し外来だけでも総量六斗の米カンパが集荷され外主婦会の充実を物語つている光に射られ刹に身体に変調はなかつたが、五日後に猛熱して倒れた。然し復員後は生来弱かつた体質がかえつて丈夫になり病気らしい病気もしなかつたと親じられている今度再カイヨウで手術のため入院したところ白血球が三、二〇〇に減少（常人は六、〇〇〇）していることがわかり診断の結果はげん爆被災による白血球激減というらく印がおされたものである。

原口委員長の話

「絶望感をのり越えてボクはたくましい闘病生活を続けて行くとにかくげん爆は反対だ…十年後のいま、ぼくは身を以てその恐ろしさを知らされた。この十年の歴史の方向が単にげん子力の平和利用に向つていることはせめてもの慰めで、ボクをふくめてげん爆の悲惨な洗礼をうけた人々がこのいしずえになつているからだと自ら慰めている。そして十年も経てなお戦争の爪跡が食いこんで来る近代戦の恐しさを私は味つている。そして平和以外に人類を救う道のないことも…」

と叫んでいる。

猿渡氏が當選

荒尾市第二区市会議員選挙は十二日投票、即日開票の結果、地評推薦候補猿渡正人氏を見事当選させ革新議員団を更に一名増強する事が出来た。

旧清里村の荒尾市及び長洲町に分村編入賛成反対のしこりをそのまま持ちこんだ選挙であり、組織の絶対票を持たず、部落農民の支持を基盤とする選挙だけにその対策にはいろ〜腐心したが、終盤戦におけるの大地評各単産の積極的協力と全期間を通じ、革新議員を中心とする与党議員団の果敢な活動が部落農民の支持と相まつてこの成果をもたらしたものである。

有權者数	一、六六七人
投票数	一、五六三票
率	九三・〇七%
得票数	
当選　猿渡正人	四四二票
〃　田口　淳	四四四〃
次点　永田元年	三五〇〃
宮脇　栄	三一七〃

（荒尾地評発）